

peace winds
J A P A N

支援のプロを、
世界の現場へ



岩手県陸前高田市。2011年3月11日の東日本大震災後、県が第一中学校校庭に初めて建設した仮設住宅36戸への入居が4月9日から始まり、ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)はふとん、食器など被災世帯の暮らしに欠かせない生活用品を提供した。

「足りないものはないです。こんな立派なものをいただいて。」と話してくれた、入居者の女性。「被災した他の人たちに申し訳ないくらい。」と、隣にいた孫の頭をなでながら、言葉を続けて震災の日の状況を語ってくれた。涙はうかべても、忍耐強くあり続けようとするその姿が印象的だった。

PWJは岩手県庁と調整を進め、世帯構成や地域の要望に合わせて物資の選定ならびに調達を行った。震災以来、重責を抱えた被災地の自治体は様々な課題への対応に追われており、PWJの支援に対する期待は大きく、他県からも同様の支援を求める声がある。対象地域は、岩手県大船渡市、陸前高田市、釜石市など合わせて11,000世帯を見込む。

海沿いへ車を走らせると、津波によって家々が押し流されて積み上がったがれきの山が、見渡す限り続いていた。かつては、ここに商店や住宅が立ち並んでいた。目の前に広がる穏やかな青い海が、あの日は黒い濁流となって人びとの営みを一瞬にして飲み込んだ。

人びとが生活再建に向けて第一歩を踏み出し、この地で新たな希望を見い出せるよう、PWJは、経済復興へ向けた商工会議所への支援や、心に痛手を負った子どもたちを地域ぐるみで支えていく活動なども中長期的な計画に基づいて継続していく。

響け、復興の足音

—東日本大震災 緊急・復興支援—

即日に出動決定、気仙沼で活動を開始

2011年3月11日午後2時46分。国内観測史上最大規模のマグニチュード9.0の地震及び直後の大津波が東北地方を中心とする太平洋沿岸地域を襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。その報に接したピースウィンズ・ジャパン（PWJ）

ヘリポートで現地視察へ向かう



は即座に出動を決定し、翌12日にスタッフは被災地に向けて出発しました。3月12日には宮城県名取市、13日には石巻市、気仙沼市の被災状況を視察し、地震と津波による壊滅的な被害とともに、多くの人々が住む家を失い、避難所では水・食糧をはじめとする生活に必要な基本的物資の入手に苦慮している状況を確認し、宮城県気仙沼市にて被災者支援を開始することを決定しました。

気仙沼市内の様子



気仙沼市内の避難所



水を、食糧を。刻々と変わる現場のニーズに対応

PWJは避難所での聞き取りや各市町の災害対策本部との調整を踏まえ、変化するニーズに対応し、食糧や水、衛生用品や衣類、ストーブなど、緊急支援物資を届けてきました。気仙沼市に加え、支援地を宮城県南三陸町、岩手県陸前高田市、大船渡市へ拡大し、PWJが各地の避難所や自治体の集積所に届けた物資は、1か月で4トントラック30台分以上に上りました。

被害がきわめて広範囲にわたり、道路の寸断などでアクセスも難しい中、支援の道のりは予想以上に厳しいものでした。物資の輸送に欠かせないガソリンの確保に苦慮し、福島原発事故の影響による放射能被害にも留意しつつ、活動を続けました。



ストーブの搬入

災害対策本部との調整を行う代表理事大西



衛星電話の無料開放サービス



株式会社風の音舎シャノンマーレエ事業部有志による炊き出し(気仙沼)



支援物資の引き渡し

中長期的な支援へ 地域に根ざした復興をサポート

震災発生から2か月以上が経過。PWJでは、中期的な支援として、被災地の方々が生活再建するための足がかりとなる復興支援事業を進めています。

●仮設住宅への生活用品の提供

岩手県が現在進めている被災者向け仮設住宅事業に関連し、入居される方々に生活用品（食器や寝具、衣類など）を提供。

●子どもを取り巻く地域社会への支援を通じた心のケア



映画の上映会キヤラバン

遊び道具を通じて子どもと遊び

気仙沼市内、陸前高田市内の避難所にて避難生活を続ける子どもたちへ玩具セットを提供し、一緒に遊ぶサポート事業を始めています。4月7日から20日までは、避難所16か所での映画の上映会も開催。今後は、学校の先生や保護者など子どもに関わる人々を対象とした研修事業も計画しています。

●商工会議所のサポートなどを通じた経済復興

陸前高田市、大船渡市の商工会議所と協力し、地元 の経済復興への支援を開始。仮事務所を設営した商工会議所のインターネット環境を整え、事務用品を提供しました。また、避難所を巡回するバスを運行するサービスなども4月下旬から開始しています。今後は、商工会議所の会員へ移動販売をするための物資（車や保険など）の提供や地域振興券の発行を予定しています。



「おもいやりバス」



商工会議所との調整

支援の現場から 明日への一步は人のつながりから

陸前高田市立第一中学校の校庭に完成した仮設住宅に移り住んだ佐々木栄さん（80）、松子さん（77）夫婦。震災当日は、夫婦で家の畑に出ていた。大きな揺れを感じ、家に逃げ帰ると屋根の瓦が次々と落ちてくる。これはいけないと、夫婦で小高い丘に向かって走りだした時に波が勢いを増して押し寄せ、まさに津波に追われるように走った。顔見知りの老夫婦が逃げ遅れ、手を差し伸べながらも目の前で波にのまれていった光景が今でも頭から離れないという。

避難所となったのは、丘の上の神社に隣接する会館。濡れて逃げてきた人々には優先的に毛布をかき集めた。電気もなく、電話も通じず、家族に自分たちの安否を知らせることもできなかった。避難生活が6日目となったとき、娘夫婦と孫の姿が目の前に現れた。「幻でねえかと思ったよ。ばあちゃん、じいちゃん、迎えにきたよ、って。」その言葉が、気を張りつめていた心を溶かした。「家族と抱き合ったりすることなんて、映画だけだと思ったの。でも、思わず、抱き合ったね。」そうやって目頭を押さえた。

インタビューの最中に、郵便物が届いた。包みを開けると、中からは遠方の知人からの手紙と羊羹。住所を確保し、家のふとんで眠れる日々が取り戻せたことで、生活再建へ向けてようやく一歩が踏み出せた。人は人とつながること、明日を生きる勇気を持つことができると、教えられた気がした。

広報 山下智子



仮設住宅内にて、佐々木夫婦

広島県神石高原町に 災害救助犬訓練センターがオープン

お知らせ

この度、同町仙養ケ原ふれあいの里にて、災害救助犬の育成事業を行う拠点となる「ドッグラン仙養」がグランドオープンし、隣接する災害救助犬訓練センターも営業開始しました。

問い合わせ：ドッグラン・災害救助犬訓練センター／
TEL (0847) 89-0039

住所 〒720-1702
広島県神石郡神石高原町
上豊松72-8



PWJ一関事務所が開設

東日本大震災に対応した中・長期的な支援事業体制の構築に向け、PWJは一関市田村町に事務所を開設しました。現在、スタッフ10名が常駐しています。



Twitter, Facebookを始めています

PWJの支援活動の速報は、PWJ公式ツイッター、FACEBOOKにても情報を更新しています。

公式ツイッター

<http://twitter.com/peacewindsjapan>

公式FACEBOOK ファンページ

<https://www.facebook.com/PWJPublicRelations>

PWJの活動にご協力ください

※認定NPO法人のPWJへの寄付は、税金控除の対象になります。

【郵便振替】

口座番号：00160-3-179641

加入者名：特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

※特定の地域・活動へのご支援の場合は、通信欄に国名等（東日本震災の場合はそ
旨を）を明記してください。

【銀行口座】

●PWJの活動全般へのご寄付

銀行名：三井住友銀行 青山支店

口座番号：普通 1671932

口座名義：特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン 広報口

●PWJの東日本震災支援へのご寄付

銀行名：三井住友銀行 桜新町支店

口座番号：普通 6723184

口座名義：特定非営利活動法人 ピース ウィンズ・ジャパン

※領収書が必要な場合などはこちらまでご連絡ください。ご連絡をいただかない場合、銀行振込では住所が分かりかねますので、領収書を発行できません。

・3/18 NHK「ニュースウォッチ9」に
代表理事大西が生出演

・3/19 朝日新聞「オビニオン」に
代表理事大西のインタビュー掲載

・3/21 日テレ「action!」にPWJの活動が紹介

・3/22 テレ朝「やじうまテレビ」にPWJ斎藤が出演

・3/30 雑誌「TIME」にPWJ山下のコメント掲載

・3/30 TOKYO FM「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」に代表理事大西が出演

・4/3 NHK白熱教室JAPANにてPWJがケーススタディに。PWJ山本が出演

メディア
掲載報告

* ピースウィンズ・ショップから *

がんばろう日本 寄付付きコーヒー販売開始

コーヒーでつなげる 想いをつなげる がんばろう日本

3月11日に起こった未曾有の大災害。

フェアトレード部でもコーヒーで被災された皆様に応援できればと
考え、宮城県南三陸町を中心にピースコーヒーをお配りしてきました。

「地震以来はじめてのコーヒーだわ」「おいしい、このコーヒーは
おいしい」「あー、ホッとする」「この香り忘れてた」などたくさん
の喜びの言葉をいただき、コーヒーがもたらす時間というものを再認
識しました。

このたび、東ティモールのピースコーヒーに「がんばろう日本」ラ
ベルをつけた東北応援寄付付きのフェアトレードコーヒーの販売を開
始しました。コーヒーを選んでいただくだけで東北支援にもつなげる
フェアトレードコーヒーです。

ピースコーヒー200g 粉、ドリップバッグギフトは各100円、2個入
りコーヒーギフトは200円、3個入りは300円をPWJの東日本大震災
緊急支援活動に活用させていただきます。

みなさまの想いを東ティモールと東北の被災された方々へ届けたい
と思います。この機会にぜひご利用ください。

ご注文は、<http://www.peace-winds.org/shop/>

またはTEL03-6438-9403、FAX03-5786-7782まで。

※ピースウィンズ・ショップの収益はPWJの国際支援活動に活用されています。



東ティモールから日本に メッセージが届きました

日本の皆さんには大変な
状況乗り越えて我慢強く
頑張る力があります。

私たちは美味しいコーヒーを東ティモールから届
けることで日本の皆さんを応援します。

元気を出して、ガンバレ ガンバレ ニッポン！



支援地レポート

スーダン

2011年1月の南部スーダン独立を
問う住民投票の後、治安の確保に留意
しながら活動を続け、アコボ郡で12本、
デューク郡で8本の井戸が完成しまし
た。ある村では、井戸の引き渡し時に
村人が総出で踊り出し、井戸ができた
喜びを伝えてくれました。安全な水の
確保により、衛生状況の改善だけでな
く、毎日の水くみから解放される子ど
もの教育の機会も増えることが期待
されます。



スリランカ



2010年の年末から降り続いた大雨
洪水による被害に対応して、PWJはス
リランカ東部で緊急支援を行いました。
避難所にいる被災者の食糧支援や、汚
泥がたまった井戸の除菌作業や給水事
業などに携わりました。現在は、東部で
帰還民に対する生計支援に加え、北部
ワウニアでもコミュニティ生計支援お
よび学校の修復事業を展開しています。

ハイチ

2010年1月のハイチ地震に対応し、
PWJは簡易教室をはじめ、教員室や
トイレの建設支援を行っています。ま
た、ブロード地域の広場が震災後に瓦
礫とゴミに埋もれて利用できなくなっ
ており、日本の国際救援隊（自衛隊P
KO派遣）と協力して、瓦礫除去と整
地を行いました。子どもたちが伸び伸
びと広場で遊び、コミュニティの人び
とがその笑顔を見守ってくれることを
願っています。

